摂津市議会

議会運営委員会記録

令和7年5月19日

摂津市議会

議会運営委員会記録

1. 会議日時

令和7年5月19日（月）午前10時 開会
午前10時54分 閉会

1. 場所

第一委員会室

1. 出席委員

委員長	西谷知美	副委員長	塚本 崇	委員	村上英明
委員	増永和起	委員	光好博幸		
議長	三好義治	副議長	香川良平		

1. 欠席委員

なし

1. 出席した議会事務局職員

事務局長 荒井陽子 事務局次長 森口雅志
事務局次長代理 香山叔彦 事務局副主査 杉本晃司

1. 案件

本会議での資料投影について

(午前10時 開会)

○西谷知美委員長 ただいまから議会運営委員会を開会します。

本日の委員会記録署名委員は、光好委員を指名します。

本日は、前回に引き続き本会議での資料投影について協議を行います。

本件については、まず事務局より説明を受けた後、議場へ移り、資料投影のデモンストレーションを行います。その後、第一委員会室に戻り、前回の議会運営委員会でお持ち帰りいただいた項目について各会派の意見を発表していただき、協議、決定してまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは、事務局より画像データの変換について、前回から変更点がありますので説明をお願いします。

杉本副主査。

○杉本事務局副主査 それでは、画像データの変換について、説明させていただきます。

前回の本委員会では、ペイントに貼り付けて画像データへ変換する方法を説明させていただきましたが、この方法では画像の解像度が下がることが課題でありました。このことから、解像度が下がらない別の方法を検討し、今回御提案できることになりましたので、御説明させていただきます。

資料⑤を御覧ください。

こちらはC u b e P D F という変換ソフトで、各議員に貸与させていただいているパソコンに入っているものです。本資料では、エクセルのページを例として掲載しております。

まず、1 ページ目の1 を御覧ください。

対象ページを開きファイルをクリック

します。

次に、2 で印刷をクリックします。

2 ページ目の3 を御覧ください。

ここで印刷ページが表示されますので、プリンターを選択し、C u b e P D F というものを選択し、印刷をクリックします。

次に、4 でC u b e P D F のページが表示されます。

3 ページ目の5 でファイルタイプをクリックし、変換したいJ P E G かP N G を選択し、変換をクリックし終了となります。

なお、J P E G はデジタル写真に適したもので、ファイルサイズが小さいものになります。P N G はロゴやイラストに適したもので、ファイルサイズが大きくなりやすい特徴があります。

画像データについては、このC u b e P D F を使用することで、解像度を下げずに変換することができます。本日はこのデータ変換について事務局が行うか、質問者が行うかを御協議いただけたらと思います。

以上で説明を終了いたします。

○西谷知美委員長 説明が終わりました。質問があればお受けします。議長。

○三好義治議長 議員はパソコンを議場に持っていくことができませんが、データ変換作業を行ったときに、このデータをいつ渡したらよいのでしょうか。

○西谷知美委員長 画像データは議場で渡すのではなく、先に事務局に渡すものです。

○三好義治議長 事前に画像データ変換作業を事務局か議員のどちらが行うのかということですね。分かりました。

○西谷知美委員長 ほかに疑問点の確認などはございますでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○西谷知美委員長 次に、議場に移動いた

しまして、資料投影のデモンストレーションを行います。

皆様、議場へ移動していただきますよう、よろしく願いいたします。

暫時休憩します。

(午前10時 4分 休憩)

(午前10時12分 再開)

○西谷知美委員長 それでは再開します。各会派の御意見を発表していただきます。

各会派発表後に、まとめて質疑応答を行います。

まず、自民党・市民の会から時計回りで発表していただきます。

○光好博幸委員 自民党・市民の会の意見を述べさせていただきます。

1の対象につきましては、基本的には代表質問までという思いはあるんですが、今回は、試行的にというか、課題を抽出するという意味も含めて①の一般質問です。

2の提出期限につきましては、これも議論の余地は残されているかとは思いますが、答弁調整の期間が短いときもございしますので、できるだけ資料作成の慣れも含めて作成の準備に入りたいので、②の4日前が望ましいと考えてます。

3の枚数制限につきましては、例えば、写真を例に出すとしたら、一つの事案についてビフォーアフターで2枚使用することとも考えられますので、できるだけ多いほうがいいので、②の5枚を想定します。

4の会議の議事録につきましては、載せたらいいのかと思ってますので、①です。

5の傍聴者への補助資料につきましては、議場で見にくい、見やすいつてことはあるかと思いますが、傍聴されていきますので、モニターがありますし、また傍聴

者が何人来られるか分からないし、配布の手間も考えると、配布しないでいいということで、②です。

6の画像の変換につきましては、発表者、質問者が全責任を負ったほうがいいと思いますので、②の質問者です。

以上です。

○西谷知美委員長 それでは、次、日本共産党。

○増永和起委員 1番の対象につきましては、②の一般質問または代表質問です。

2の提出期限につきましては、②の一般質問が行われる本会議の4日前なんですが、できる限り4日前よりも短くできないかという話をしております。

確認なんですけど、この一般質問が行われるというのは、質問者が一般質問を行う、つまり1日目の質問者、2日目の質問者ってありますが、どちらで起算をしますか。

○西谷知美委員長 質問は後ほどお願いいたします。

○増永和起委員 3の枚数制限につきましては、できるだけ多いほうがいいとは思いますが、取りあえずは3枚でもいいと思います。ほかの会派で5枚という意見がありましたけれども、それでも結構です。

4の会議録につきましては、①の掲載するです。

5の傍聴者への補助資料配布につきましては①の配布するです。

6の画像データの変換の実施者につきましては、後から聞いた内容のため、会派の中で議論ができていませんが、自分でやりたいという人もいてたら、事務局にお願いしたいという人もあるでしょうし、①の事務局、②の質問者ではなく、どちらでもよいということにしてもらえたらと思っています。

以上です。

○西谷知美委員長 ありがとうございます。

公明党。

○村上英明委員 1の対象につきましては、①の一般質問という御意見もあるんですが、代表質問ができない、やらないという理由が思いつかないということもございますので、②の一般質問または代表質問でいきたいと思っております。

2の提出期限につきましては、①の一般質問が行われる本会議の5日前でいきたいと思っております。要は、提出後事務局や議長に見ていただく日程等を確保したほうが良いと思っております。

3の枚数制限につきましては、②でお願いいたします。自民党・市民の会も言われましたが、投影する際に、現状と今後こう変えたらということとかも含めていけば、枚数は3枚では少ないという思いもありますので、②の5枚程度が良いかなと思っております。

4の会議録掲載につきましては、①の掲載するでいきたいと思っております。

5の傍聴者への補助資料配布につきましては、②の配布しないをお願いしたいと思っております。

6の画像データの変換の実施者につきましては、②の質問者で、提出も変換も全て質問者が提案する資料という意味も含めて、質問者の責任の範疇でやっていくということで、②で公明党は考えております。

以上です。

○西谷知美委員長 大阪維新の会。

○塚本崇委員 1の対象につきましては②の一般質問または代表質問です。2の提出期限につきましては、①の一般質問が行われる本会議の5日前です。3の枚数制限

につきましては①の3枚です。4の会議録掲載につきましては、①の掲載するです。

5の傍聴者への補助資料配布につきましては②の配布しないです。6の画像データの変換の実施者につきましては②の質問者です。

○西谷知美委員長 民主市民連合の回答を述べさせていただきます。1の対象につきましては②の一般質問または代表質問です。

2の提出期限につきましては、まずは慣れるために余裕があったほうが良いということで、①の一般質問が行われる本会議の5日前でお願いします。

3の枚数制限につきましては、ビフォーアフターの話も出てきたんですけども、必ずしも全員が5枚出すわけじゃないということも前提として、②の5枚が妥当と思います。

4の会議録掲載につきましては、①の掲載するです。

5の傍聴者への補助資料配布につきましては②の配布しないをお願いします。

6の画像データの変換の実施者につきましては、②の質問者でお願いします。

以上で、各会派の発表がございました。

それでは御質問について回答をお願いいたします。2の提出期限のカウントについて、一般質問者が1日目、2日目と分かれることがあります、どちらでカウントするかっていうことの質問がありました。

香山局次長代理。

○香山事務局次長代理 それでは、増永委員の一般質問の1日目、2日目の、どちらでカウントするのかという御質問にお答えさせていただきます。

一般質問は、2日設けて、1日目、2日目とさせていただいてるんですけども、あ

くまでこれは便宜上で、1日目で全て終わるのであれば1日で終わるという運用もできとなっております。

ですので、基本的には一般質問の1日目から起算して4日前なのか5日前なのかでさせていただきます。

出す質問が遅い場合、10番目、11番目となると、大体2日目になるんですけども、ただ、場合によっては1日目に、10番目の方であっても、15番目の方であってもすることもございますので、1日目、2日目という分け方をせずに、あくまで一般質問の1日目から起算してカウントしていただければと考えております。

以上でございます。

○西谷知美委員長 増永委員。

○増永和起委員 一般質問につきましては結構です。

○西谷知美委員長 分かりました。

ほかに質問がある方はいらっしゃいますでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○西谷知美委員長 それでは、回答について分かれた部分もあるのですが、1の対象につきましては、自民党・市民の会が①の一般質問のみという回答だったんですけども、代表質問も入れても大丈夫でしょうか。光好委員。

○光好博幸委員 冒頭に申し上げましたように、代表質問も含めて、まずは一般質問という考え方ですので②の一般質問または代表質問で賛同します。

○西谷知美委員長 1の対象につきましては②の一般質問または代表質問で決定させていただきます。

次に、2の提出期限についてでございます。

先ほど増永委員からの質問もありまし

て、一般質問の1日目から起算ということも確認されましたが、多数決でいくと①の一般質問が行われる本会議の5日前ということになっているんですけども、何か追加で御意見ございますでしょうか。

増永委員。

○増永和起委員 この議論をする前に、取りあえずスタートをしてみて、その中でいろいろやり方を考えていくスタンスだったと思いますので、皆さんの御意見で5日前ってということやったらそれで賛同します。今後もう少しスムーズに運用していけるようになれば、この日にちを短くしていくことも考えていただけたらなって思いますので、①の一般質問が行われる本会議の5日前でいいです。

○西谷知美委員長 光好委員。

○光好博幸委員 私も、増永委員の意見と同様で、会派の意見としては極力短いといいますか、4日前もしくは3日前等が望ましいと思うんですけども、課題の抽出であったり慣れも含めて、まずはスタートするというので、①で賛同します。

また見直しの機会を設けていただきたいと思います。

○西谷知美委員長 2の提出期限につきましては、今回がスタートということで余裕を持って5日前というルールで始めますが、事務局や議員側も慣れて、短縮可能であれば、皆さんの中でまた議論して、提出期限を見直す可能性があるということも含め、今回は①の一般質問が行われる本会議の5日前と決定させていただきます。

3の枚数制限についてでございますが、②はの具体的な枚数を書いてないんですけども、提案としては、5枚という意見が3会派から出ております。

何か御意見ありますでしょうか。

増永委員。

○増永和起委員　たくさん映せるに越したことはないんですけども、開始当初のため3枚って言ったんですが、事務局が5枚で運営可能であれば、多い枚数で結構です。

塚本委員。

○塚本崇委員　同様です。

○西谷知美委員長　塚本委員も同様とのことで事務局に確認いたします。

香山事務局次長代理。

○香山事務局次長代理　ただいまの御質問にお答えさせていただきます。

枚数について、3枚か5枚かについてでございます。

事務局としましても、今までしていない作業になりますので、極力枚数は少ないほうがスタート時点ではありがたいんですけども、5枚程度であれば一応対応はできるかと考えております。

ただ、やりながらというところもありますので、例えば第2回定例会は、1枚、2枚でしていただいて、徐々に増やしていただくことも御配慮いただければと思っております。

以上でございます。

○西谷知美委員長　今、事務局からの回答もございましたとおり、会派の方々には、ルールとしては最大5枚になりましたが、次の本会議は初回ということで、極力抑えていただくよう御配慮いただけたらと思っております。枚数制限については②番で、最大5枚ということで決定いたしました。

次に、4の会議録掲載につきましては、①の掲載するで全員一致しました。

5の傍聴者への補助資料配布につきましては、日本共産党が配布するという御意見ですが、ほかに何か御意見があればお願

いします。

増永委員。

○増永和起委員　この要綱の中にはない話ということになると思います。今回決めるのは、資料配布は、この要綱ではなくてほかの取り決めであるので、例えば共産党として、議場配布をしたいと思えば、この要綱に基づかないで資料配布すればいいという理解でよろしいですか。

○西谷知美委員長　香山局次長代理。

○香山事務局次長代理　ただいまの資料配布の御質問にお答えさせていただきます。

増永委員が言われているのが、摂津市議会会議規則に規定されている資料配布になります。

前回、私が説明させていただいた資料配布の規定については、議場内、あくまで傍聴者を除いた議会出席者への資料配布の規定でございます。傍聴者についての規定は摂津市議会会議規則にはございませんので、傍聴者に配布するということであれば、この要綱に明記する必要があるため、その旨を前回御説明させていただいたところでございます。

もし、今回明記しないということになった場合は、基本的には質問者が希望されても配布はできないことになるんですけども、今後見直しということも考えておりますので、運用していく上で、傍聴者からも御要望等が多く出て、皆さんも資料配布したほうがいいのかというふうになれば、別途見直して要綱に定めて運用していただければと考えております。

以上でございます。

○西谷知美委員長　増永委員。

○増永和起委員　傍聴者を除いての資料配布は可能だということで理解しました。

傍聴者にも配布となると、今回の決定で配布しないとなるのであれば、この先議論をしていくと了解しました。

この先傍聴者から資料が見にくいとか、いろいろ声が出るだろうと思われまので、検討していただきたいと思います。

○西谷知美委員長 5の傍聴者への補助資料配布については、今回の決定では配布しないとなりました。今後、傍聴者の方や市民の方からお声が出てきたら、こちらの議会運営委員会で検討するというのでよろしく願います。

次に、6の画像データの変換の実施者についてですが、こちらについても御意見お聞かせください。増永委員。

○増永和起委員 いつも摂津市から貸与いただいているパソコンではなく、自分のパソコンを使用しています。摂津市のパソコンでないと、説明していただいたとおりの変換ができないと思います。摂津市のパソコンだとダウンロードに制限がかかると思うのですが、もしこの方法で変換を行うのであれば、私の持っているパソコンで何かをダウンロードして、それを摂津市から貸与されてるパソコンへ移して、変換する流れになるのでしょうか。

○西谷知美委員長 暫時休憩します。

(午前10時33分 休憩)

(午前10時34分 再開)

○西谷知美委員長 再開します。

御自身のパソコンにデータを落として、それをUSBなどで、摂津市のパソコンへデータを移行し、事務局のサポートも受けながら進められたらいいと思うのですが、増永委員いかがでしょうか。

○増永和起委員 分かりました。

○西谷知美委員長 6の画像データ変換

の実施者につきましては、②の質問者ということで決定させていただきます。

本日決定した内容で要綱を制定し、第2回定例会より運用を開始してまいります。

増永委員。

○増永和起委員 ここに関係してないことでも、質問をさせていただきたいことがあります。モニターに投影する場合の要綱ってということだと思んですけども、今までどおりモニターに投影しないで、手持ちでパネルを使用することを、制限するものではないということの確認をまず一つ質問をしたいと思っています。

次に、確認ですが、補助資料について、議長が必要に応じて修正を命じるものとするというのが第6条第2項にありますけれども、ここで議長の修正は、前段にある使用できない補助資料について判断するということと、実際の質問者の意見と違う場合は、議長の修正が絶対的に通るわけではなくて、また議会運営委員会などで議論をして考えていくということについて確認をしておきたいと思うんです。

特にお答えとか言っていただかなくてもこういう話合いをしたと議事録に載ればそれでよいと思っています。

第5条第1号に、個人の肖像権、著作権、知的財産権等の侵害に当たるものとありますが、例えば、新聞記事で、摂津市が掲載された新聞記事や週刊誌を投影して、質問をすることもあるかと思います。著作権の問題で、投影はできるのかどうなのかということも確認をしておきたいと思います。

○西谷知美委員長 本日、議場でモニターを通じて見ていただいたとおりの新聞記事を投影すると、見出し的なものだったら読み切れと思うんですけど、その辺は会派

の判断もあるかと思えます。

○増永和起委員 著作権のことでお聞きしたいです。

○西谷知美委員長 著作権の問題ですが、例えば記事全文はぼかしたりという配慮も最近されている方もいらっしゃったり、難しい問題ですので、データをよく見てもらうって言う考えの下に今回の発案があるので、パネルで出される分には制限がかからないかもしれないですけども、モニターに映し出すっていうところでは、ちょっと議論が分かれるかなと思えます。

塚本委員。

○塚本崇委員 今回の資料投影は補助資料であって、例えば、写真や統計資料は客観的資料ですので、マスメディアであっても切り取り方によって事実ではない報道がされる場合もありますので違う方向なのかなという感覚を私は持っています。

○西谷知美委員長 村上委員。

○村上英明委員 今、増永委員が言われたのは、公的に公開されてる新聞をそのまま一部を切り取って、それを投影することについての著作権や肖像権の問題だと思います。

事務局で、それが該当するかどうか、調べていただきたいです。

○西谷知美委員長 増永委員。

○増永和起委員 私が聞いたのは、今、村上委員がおっしゃったとおりで、例えば出典として、何々新聞の何月号の何面に撰津市のスクールバッグがリニューアルして、とても評判ですみたいな写真つきのニュースが載ったとします。それを資料として出してもらいながら質問をしていくこともあり得ると思えます。その新聞や週刊誌の記事を載せることが、果たして著作権の侵害に触れるのかどうなのかっていうの

は、気になります。質問者が提出して、初めて著作権について調べていったら、5日間はあっという間に終わってしまうと思うし、そこで一定の基準が皆さんで共有されているのであれば、スムーズに進めていけると思えます。

もう一点は、新聞や週刊誌の記事を出すべきではないっていう意見は、違うと思えます。

新聞記事について、その内容は人それぞれの思いは違うかもしれない、そのとおりだと思う人もいれば、違うって思う人もいてるかもしれないですけど、新聞報道がありましたっていうのはこれは既に事実なわけです。それを示すことについては第3条第3号にあるように、質問者の客観的事実に基づいて補足的に説明するためであって、この新聞記事を出したら「質問者の主観的表現を用いないこと」に触れるのであれば、これはもうはなから大前提が崩れてくると思えます。

新聞記事や週刊誌は事実であって、それを示して、その通りであるか否かと質問するのはいろいろあると思えます。新聞記事を示すこと自体が、主観的表現だってなるんだったら、大前提から崩れてくると思えます。

何を補助的資料として出すかっていうのは、質問者が選ぶものであって、他者が恣意的だから駄目だって押しえつけていうのは、違うと思えます。

議長が議長の権限で修正を命じるっていうことについていろいろ言いましたけれども、恣意的に押しえつけられる問題が引き起こってくると思えます。字が見えにくかったから伝わりにくかったっていう場合は、質問者が反省したらいいことで何を補助的資料として投影するかっていう

のは、質問者の判断、選択だと思います。それについて公序良俗や著作権に反するとか、そういう問題が出てくるのなら修正をしたいと思います、いかがですか。

○西谷知美委員長 この件に関しては、先ほど村上委員からも提案いただいたんですけど、今回はデータなり、視覚的に訴えやすいものを投影するというのが主な目的であって、他市の運用について事務局に調べていただきたいです。従来パネルで出していたものを投影するに当たって大津市にも行かせていただいたので、そちらの運用も参考にさせていただきながら、事務局に調べていただいた資料を基に、もう一度議論してもいいかと思うんですけども、いかがでしょうか。

光好委員。

○光好博幸委員 まず、肖像権と著作権ついて、確認が必要だと思います。

次に、質問者の意思による補助資料投影なので、今から議論すると、6月議会に間に合わない可能性もあります。補助資料として著作権や肖像権に関わるかどうかということを整理していただき、御回答いただいて、まず運用をスタートしたらどうかというふうに思いますけどいかがでしょうか。

○西谷知美委員長 光好委員からも御意見いただきましたが、ほかに御意見はございますか。

議長。

○三好義治議長 著作権や個人情報保護法などを検証した上で議長判断になると思います。

提出された段階で、法律に照らしながら決めていくということで、集約してもらえたらと思います。

総務省からのデータにしても、本来無許

可で使ってはならないようなデータですが、引用元を明記しながら提出をするなどの方法論もいろいろあると思います。今の段階では、よしあしを決めず、議長判断としては、法律に照らし合わせながら質問者と協議をしていくということで、どうかとは思いますが。

新聞などで公に出ている部分で、これは口頭でもいくらかでも披露できるからオーケーだろうと思います。

例えば写真撮影が駄目なところで写真を撮ってきて、引用元を掲載しても、許されません。

個人宅や道路標識を撮影した上に表札の名前が出てくるような場合は消してください。こんな判断基準になるのかと思います。

議長判断として法律等を見極めた上で、調整していきたいと思います。このような集約でどうかなと思います。

○西谷知美委員長 増永委員。

○増永和起委員 大体は良識でやれると思います。例えば、市民が映り込んでいるとか、住所が入っているのはぼかしを入れるなどの処理をしたり、避けたりなどは分かりやすいんですけど、今言った新聞記事や週刊誌が、最近問題になってきて、以前だったら通用していたことが、画像としてモニターに映し出すときに問題になってくると思うんです。

例えば、新聞を手を持って、掲載を紹介するような質問をすることは、駄目ではないと思うんですけども、画像としてモニターに映し出すことがオーケーかっていうのは、先に調べておいていただくほうがスムーズなんではないかと思っていますので、事務局に調べていただきたいです。

質問者が質問をするための補助資料と

して何を選択するかは、質問者の自由で、議長がおっしゃられたように、提出して、問題かと疑われる箇所は法律などで判断をして返されるということで運用していかないと、恣意的な運用になって、新聞記事は新聞社の見解で、客観的なものではないみたいな話になっていったら、とんでもない方向に進むと思ったので言わせていただきました。

皆さん、6月議会でスタートしたいというのが、一致してると思うので、まずはそこからスタートしてもらいたいです。

○西谷知美委員長 議長。

○三好義治議長 議長としては、次の議長もそうですけど、公平中立な立場で何を基準に判断するかというのが大事です。

誰がではなく何が正しいかと判断する基準を持たなければならない。

そのためには、法律と規則を照らし合わせながら判断し、積み上げてもらえばいいかと思います。以上です。

○西谷知美委員長 増永委員。

○増永和起委員 ありがとうございます。

最初に言いましたけれども、あくまで投影する場合であって、今までどおりパネルの使用は制限がないことも確認しておいていただきたいです。

○西谷知美委員長 香山局次長代理。

○香山事務局次長代理 パネルの御質問にお答えさせていただきます。

今回、補助資料の要綱を設けて運用するものにつきましては、あくまで資料投影するものに限った分になりまして、これとパネルは切り分けて考えていただければと思っております。

パネルを使いたいということであれば、特にこの要綱に照らすことなく従来どおりの運用でしていただければと思います。

○西谷知美委員長 増永委員。

○増永和起委員 分かりました。

○西谷知美委員長 増永委員の御質問を整理いたしますと、パネルの使用については、これまでどおりということになります。

そして、新聞記事の引用については、著作権の問題などを事務局に調べていただいた上で、資料として投影するかどうか判断させていただくということでよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○西谷知美委員長 それでは、本委員会を終了させていただきます。

(午前10時54分 閉会)

摂津市議会委員会条例第29条第1項の規定により、署名する。

議会運営委員長 西谷知美

議会運営委員 光好博幸